

教科名	数学	科目名	数学基礎
対象	科目選択者	年次	1年次
添削指導回数	6	面接指導時数	2
単位数	2	備考	学校設定教科（選択）
教科書・補助教材等	自主作成教材 数学基礎 初級編 数学 I Advance（東京書籍）		
学習の目的	小学校・中学校で学習した四則計算や図形について復習し高等学校の数学の理解を深められるようにする。		
学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
前期	4	1 三角形の角 2 四角形・多角形の角 3 三角形・四角形の面積	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形や四角形の角度や面積の性質を理解し角度及び面積を求められるようになる。 ・立体の体積の公式を理解し体積を正確に求められるようになる。 ・小数点の位置に注意し、小数の加減乗除の計算ができるようになる。 ・倍数と約数の性質を理解し分数の加減ができるようになる。
	5、6	4 直方体や立方体の体積 5 小数のたし算とひき算 6 小数のかけ算とわり算	
	7、9	7 倍数と公倍数 8 約数と公約数 9 分数のたし算とひき算	
後期	10、11	10 分数のかけ算とわり算 11 速さ 12 比 13 逆算 14 比例	<ul style="list-style-type: none"> ・分数の乗除ができるようになる。 ・速さの公式を覚えて時間や道のりも求められるようにする。 ・比の性質・xの求め方・比例の性質を理解する。
	12、1	15 比例のグラフ 16 反比例 17 反比例のグラフ 18 場合の数	
	2、3	総復習	<ul style="list-style-type: none"> ・単位認定試験に向け、それぞれの苦手分野の復習と発展学習を行う。

学習上の留意点	本学習のねらいは、中学校で学習した数学の概要をきちんと身につけてもらうことである。一人でも多くの生徒が数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断できるようになってもらいたい。	
評価の観点		評価方法
主体的に学習に取り組む態度	授業、課題学習のぞむ態度など。(数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする姿勢)	レポートの評価、面接授業の参加状況と定期考査出題範囲における習得の状況を評価から、総合的に評価する。
思考・判断・表現	定期考査、授業中の質問に対する回答、レポートの考察など(数学的な見方や考え方を身に付けているか)	
知識・技能	学習課題、レポートなど。(事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けているか) 定期考査の成績、小テストの成績、レポートなど。(基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けているか)	

RITA 学園高等学校